全般 1か月予報

(8月1日から8月31日までの天候見通し)

平成21年7月31日 気象庁 地球環境・海洋部発表

<特に注意を要する事項>

北日本から西日本にかけては日照時間が少ない見込みです。沖縄・奄美では、期間の前半を中心に気温がかなり高くなるおそれがあります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。 天気は北日本から西日本にかけては平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。沖縄・奄美で平年と同様に 晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は沖縄・奄美で高い確率70%、北日本で平年並または低い確率ともに40%です。日照時間は、北日本と東日本、西日本で平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は沖縄・奄美で高い確率70%、北日本で低い確率50%、東日本と西日本で平年並または低い確率ともに40%です。2週目は沖縄・奄美で高い確率70%、西日本で平年並または高い確率ともに40%です。3~4週目は、沖縄・奄美で高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

[気 温] 北日本	40	40	20	[日照時間] 北日本日本海側	40	40	20
東日本	40	30	30	北日本太平洋側	40	40	20
西日本	30	40	30	東日本日本海側	40	40	20
沖縄・奄美	10 20	70		東日本太平洋側	40	40	20
[降水量]	20	40	30	西日本日本海側	40	40	20
北日本日本海側	30	40		西日本太平洋側	40	40	20
北日本太平洋側	30	40	30	沖縄・奄美	30	40	30
東日本日本海側	30	40	30	71 100			
東日本太平洋側	30	40	30				
西日本日本海側	30	40	30				
西日本太平洋側	30	40	30				
沖縄・奄美	30	40	30				
	低い	(少ない)		平年並	高い	(多门)	

<気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目]	北日本	50	4	10
	東日本	40	40	20
	西日本	40	40	20
	沖縄・奄美	10 20	70	
[2週目]	北日本	40	30	30
	東日本	30	40	30
	西日本	20	40	40
	沖縄・奄美	10 20	70	
[3~4週目]	北日本	40	30	30
	東日本	30	40	30
	西日本	30	40	30
	沖縄・奄美	20	30	50
		低い	平年並	高い

<予報の対象期間>

1 か月 : 8月 1日(土)~ 8月31日(月) 1 週目 : 8月 1日(土)~ 8月 7日(金) 2 週目 : 8月 8日(土)~ 8月14日(金) 3~4週目 : 8月15日(土)~ 8月28日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は8月7日

3か月予報:8月25日(火) 14時

<参考資料(平年並の範囲)>

(1) $1971 \sim 2000$ 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差 (比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()		降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
北日本	-0.8 ~ +0.6	日本海側	77 ~ 109	99 ~ 107
		太平洋側	77 ~ 113	89 ~ 110
東日本	-0.2 ~+0.3	日本海側	82 ~ 111	93 ~ 111
		太平洋側	72 ~ 118	95 ~ 108
西日本	-0.4 ~ +0.4	日本海側	72 ~ 111	95 ~ 113
		太平洋側	74 ~ 101	93 ~ 109
沖縄・奄美	-0.2 ~+0.2		86 ~ 112	95 ~ 104

(2)この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
北日本	-0.8 ~ +1.1	-0.9 ~+1.0	-0.4 ~ +0.8
東日本	-0.3 ~ +0.8	-0.3 ~ +0.7	-0.2 ~ +0.6
西日本	-0.4 ~ +0.5	-0.5 ~ +0.5	-0.3 ~ +0.3
沖縄・奄美	-0.2 ~ +0.2	-0.3 ~ +0.2	-0.2 ~ +0.2

<参考資料(利用上の注意)>

- (1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- (2)予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- (3)晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。